



るうてる

箱崎群教会共同体版

一月報 メッセージと証しー

発行 日本福音ルーテル箱崎教会

代表者 牧師 和田 憲明

〒812-0053 福岡市東区箱崎 3-32-3

T E L (092) 641-5440 / F A X (092) 641-5480

箱崎教会・恵泉幼稚園 <http://www.jelc.or.jp/hakozaki>

聖ペテロ教会・奈多愛育園 <http://nata.aiikuen.net/>

CLICK

泣きながら夜を過ごす人にも

喜びの歌と共に朝を迎えさせてくださる。

(『聖書』詩篇30編6節／旧約聖書P860)

昨今、新しいウイルスによる影響によって、日々苦慮して過ごされたこととお察しします。冒頭の聖書のみ言葉（聖句）は、およそ 3000 年前の詩篇の著者の言葉ですが、終わりのないような苦悩の後、闇は去って陽は昇り、祈りが聞かれたよろこびに満たされました。この古くて新しい祝福が、私たちの上にも共にあるように。

【トピック】

現在、教会は基本的に礼拝のみを再開しています。YouTube での LIVE 配信もはじまりました（毎週日曜日 10 時 30 分～）。【ルーテル箱崎教会・聖ペテロ教会 YouTube】(QR コード) ほか「こどもへのおはなし」、「ルーテルはこぎき広場」（音楽の演奏）などもアップしてきましたので、ご覧いただければ幸いです。



社会福祉法人 一羊会

るうてる愛育園

4 月に新設した「るうてる愛育園」も無事、順調にスタートを切りました。イメージカラーは、神さまが天地創造で造られた空と海にちなみ、スカイ&マリン・ブルー。またロゴマークは迷える一匹の羊をモチーフに完成しました <http://aiikuen.net/>。設計「風土デザイン設計事務所」 <http://fudodesign.net> や 施工の永和建設 <http://www.eiwahome.jp/>、また内装を手掛けてくださった箱崎教会町内会の「原田瑛瑠」 <https://harada-horo.com/> からご紹介をいただいています。



教会の庭には、つゆに濡れた真っ赤なカンナが次々と咲いています。2017 年宗教改革 500 年記念礼拝（長崎）の折、各参加者に手渡された時は球根でした。

「球根のなかには 花が

ひめられ〜♪」（『讃美歌 21』575 番）を賛美した春は過ぎ、初夏、梅雨を迎えて 2020 年も折り返し地点を過ぎました。「〜ついに変えられる 永遠の朝 その日 その時を ただ神が知る」（同曲/4 番）賛美し、祈りを合わせよう。



今回は 春に原稿を寄せてくださった 教会学校／恵泉幼稚園保護者 また 恵泉幼稚園の先生より
「証し」(神さまの自身への働きかけ)を書いていただきました 感謝しつつ おわかします(わ)

お祈りを通して

S・T

この春、ふたごの二男と三男が4歳を迎えました。ようやく待ちに待った入園です。入れ替わりで卒園した長男と、小学3年生の長女もお世話になったので、恵泉幼稚園の保護者として6年目になります。

今は末っ子たちも4歳になりましたが、2人が生まれた時、長女は4歳、長男は2歳でした。元々子どもが好きでしたし、子育ても慣れたつもりでいましたが、ふたご育児は想像以上に大変なものでした。夜中は代わりばんこに泣いて、なかなか眠れません。日中も1人が泣きだし、その子を抱っこすると、機嫌が良かったはずのもう1人が泣く、という具合で、大人1人では手が足りませんでした。

外出するにも、赤ちゃん2人に授乳とオムツ替えをし、上の2人をトイレに行かせ、靴下と靴を履かせ、「さあ、出掛けよう。」とすると、オムツが濡れて泣き出したりで、出掛けるまでに1時間以上かかることもありました。外出先でも、誰かが泣いたりぐずったりすると、どうしてもなくなりすぐ帰宅、ということも多々あり、徐々に出掛ける事が億劫になってきました。

そんな中、外出先で、幼稚園だけは唯一ホッとできる場所でした。先生方は、いつも笑顔で迎えてくださり、赤ちゃんがぐずると助けてくださいました。また、上の子達のストレスが溜まって、我慢を言っても、その気持ちを組んでくださり、子ども達はいつも笑顔でいることができました。子ども達の笑顔を見ると、大変な毎日が報われるような気がしました。

休日も、日曜礼拝がある日には、夫と2人か、夫の仕事がある日は私1人で子ども達と園へ行き、先生方に助けてもらいながら家族全員が満ち足りた時間を過ごすことができました。

子どもと一緒に目を閉じて、お祈りをしたり、日常に無い静かな時間を過ごしていると、心が落ちついて、ゆっくり自分と向き合うことができました。そして、これまでの反省や、これからの決意など、前向きな気持ちになれるのでした。



「疲れた者、重荷を負うものは、だれでもわたしのもとに来なさい。
休ませてあげよう。」(マタイによる福音書 11:28)

このみことばの通り、お祈りをしている時、私は神様のもとで休ませてもらい、「またこれから頑張ろう。」という気持ちになるのでした。

あの頃から4年が経ち、上の2人の子ども達は小学生となり、昔のように、「ママ、ママ。」と何でも話してくれなくなりました。成長と共に、心の中でも複雑になっていくように思えます。自我が芽生え、少しずつですが、それぞれ自分の道を歩いていくことでしょう。時として、困難にぶつかったり、悩んだりすることもあると思います。そんな時、恵泉幼稚園で過ごした、優しく暖かな日々や、お祈りを通して自分自身と向き合い、神様が共にいてくださることを実感として知っている経験は、子ども達の心の大きな支えとなってくれることと思います。

また、私自身にとっても、子ども達と共に過ごした幼稚園や教会学校での日々が、母親としての土台となり、悩んだ時に進む道を示してくれるものとなっています。これまでも、またこれからも、子ども達と恵泉幼稚園で過ごせることに感謝いたします。

キリストの香りをはなつ 恵泉幼稚園に 感謝をこめて

A・F

今年も、大好きな園庭の桜の木が見事に花を咲かせ、見る私たちの心を明るくしてくれました。

この春、長くお世話になった恵泉幼稚園を卒園（退職）することになりました。幼稚園教諭として、約 20 年、また 3 人の息子たちがなかよしグループから数えて 10 年間は保護者として、振り返ると私の人生の半分以上は恵泉と共にありました。

思い起こせば、幼稚園での子どもたちとの懐かしい思い出は、日常の保育の延長線上にあったものばかりで・・・粘土や泥だんご作りが上手になった頃に、白玉粉をこねてお団子を作り、きな粉団子にして食べたり・・・お店屋さんごっこをする際に、箱崎の商店街へ散歩に行き、みんなで決めた果物を八百屋さんで買って、りんごや柿をむいて食べたり・・・秋には園庭の落ち葉を集めて、お芋ほりで掘ったおいもを焼き芋にして食べたこともありました。粘土の型ぬきが上手になった頃、卒園する年長さんのために、クッキーを作ってお別れ会を開いて食べたり・・・園庭のみかんのしぼり汁で絵を描いて、カセットコンロの火の上であぶり出しを楽しんだこともありました。結婚して、一度退職するまでの遠い昔の思い出は、（食べることばかりで！今では考えられないようなことばかりですが・・・）子どもたちのキラキラ輝く笑顔と、五感をフルに使って楽しんだあの頃のあたたかい感覚と一緒に、私の中に色あせる事なく残っています。

3 人の息子たちが、散々お世話になった後、補助教諭として復帰しましたが、クラスを大きく動かしていく担任の先生が心地よく保育ができるように・・・とと思っていましたが、どれだけでできたかどうか？先生方や保護者の方々と子どもたちとの関わりを見る度に、以前の私の保育に足らなかった所や、子育てにおいても「こんな風に関われば良かったんだ！」と思わされる事だらけでした。補助として子どもたちと関わる事は、時として、友達との関わり方や自分の気持を表現するのが苦手だったりする、成長途中の子に寄り添っての日々でもありました。園庭の隅々まで虫を探してまわったり、きれいな形の貝殻や石、葉っぱを拾ったり、草を引き抜いて根っこの長さに目をはったり・・・神様が造ってくださった自然の恵みひとつひとつに感謝しながら、飽きることなく観察や採集と一緒に楽しみました。その中で友達との遊びに興味が出始め、友達と教師の間を行きつ戻りつの日々。私はその子たちと一緒に、気持ちに寄り添いながらただそばにいてただそばにいたことしかできませんでしたが、ゆっくりとですが確かな成長を感じる日々は、本当に幸せな時でした。



3 月の卒園式に参加させて頂きながら、勤め始めた頃の卒園式を思い出していました。当時幼稚園のホールで行われていた卒園式。その日ホールには「あなたもいって、おなじようにしなさい」（ルカ 10：37 口語訳）の聖句が飾られていました。

「良きサマリヤ人」のたとえ話で、イエス様が律法学者の「隣人とは誰か？」の問いに答えられた後、言われた言葉です。ここでサマリヤ人はイエス様を表しているとも言われますが、たとえの中のサマリヤ人の姿を通して示されたイエス様のように、あなたも歩んでいきなさい。「隣人とは誰か？」と考えるのではなく「隣人になる」ことが大切だ。あなたも自分が会える人々の隣人となりなさい。あの頃の卒園児への「あなたもいっておなじようにし

なさい」の言葉は、今の私への励ましの言葉となってよみがえってきました。

さて、長きに渡って関わって下さった全ての方々に感謝です。親子で大変お世話になり、本当にありがとうございました。近年では園やバザー等で、昔受け持った子たちが、お父さんやお母さんになって素敵な姿を見せてくれるようになりました。子育ては、喜びと共に悩みもあるでしょう。しかし、長らく教育の現場にいる方が「育児より大切な仕事があったら教えてほしい」と言われた事を思い出します。どうぞ、自信をもって！今しかできないあなたの育児を楽しんでください。私も日々誠実に、自分のことだけでなく、目の前にやるべき事があれば心を込めて行い、今自分が置かれた場所でベストをつくしていこうと思います。

旅立ちの春に、みなさんに感謝とエールを送ります！ 主の祝福を祈りつつ・・・



・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【おしらせ】

昨今、宅配サービスを利用する方も増えているようです。Amazon を利用される際に、以下の「JELA(日本福音ルーテル社団)」<http://www.jela.or.jp/> を経由くださると、自動的に寄付される仕組みがあります。

こちらの負担は一切ございませんので、ひと手間ありますが、ご協力いただければ幸いです。

< ① www.jela.or.jp  

キリストの愛で隣人に仕えます

JELA
Japan Evangelical Lutheran Association
一般社団法人 日本福音ルーテル社団

サイトナビゲーション

ニュース

amazon.co.jp Amazonでのお買い物は
JELA経由で！

こちらからAmazonのページにアクセスし
お買い物をする、購入代金の3%がJELAへの寄付に！
(購入者様の金銭的負担はありません)